

マリン LLT



ゾンデ挿入状況



測定状況



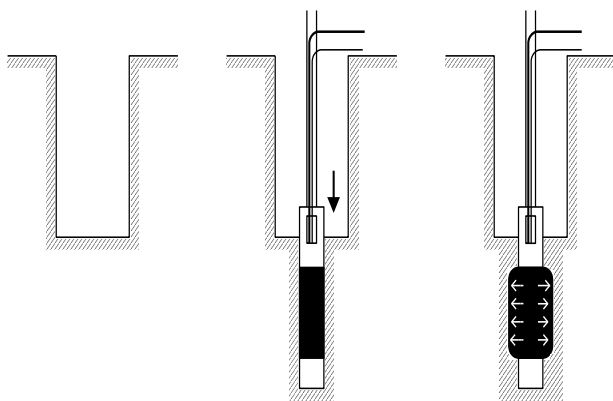
測定器

●概要

マリンLLTは、海底地盤の超軟弱な地盤を対象として開発された孔内水平載荷試験装置です。載荷部の直上にタンクを有し、地盤に押し込むタイプとなっていますので、ボーリング掘削による孔壁の緩みがありません。海上足場上での調査に有利です。

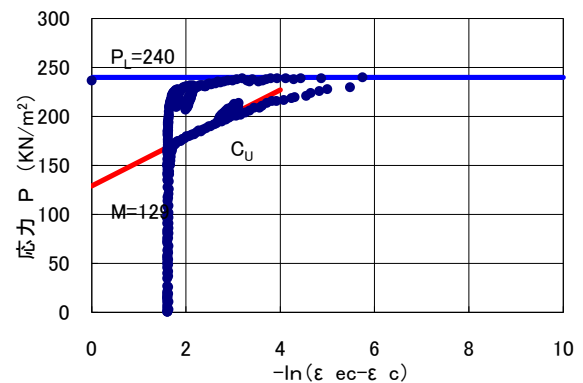
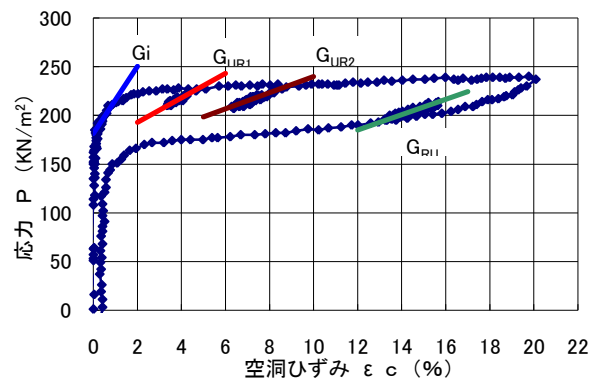
●特長

- 載荷部とタンクとの水位差が小さいので、超軟弱な地盤でも精度よく測定できます。
- 反力の小さいゴムを使用しているので補正が不要です。
- 繰り返し載荷が容易に行えます。
- 測定器はタッチパネル式で操作が簡単です。
- 測定データは、プリンターに出力する他メモリーカードに自動記録されます。
- 測定中のデータはリアルタイムにグラフに表示します。



- 1) 予定深度の手前までボーリングにより掘削する。
- 2) ゾンデをボーリング孔内に降ろし、孔底より圧入する。(圧入深度は80cm程度)。
- 3) 圧入後、数10分間放置し、載荷試験を開始する。

測定手順



測定結果例